



VIRTUAL BASSIST

Version 2.1

ユーザーガイド

最終更新日: 2020年10月21日

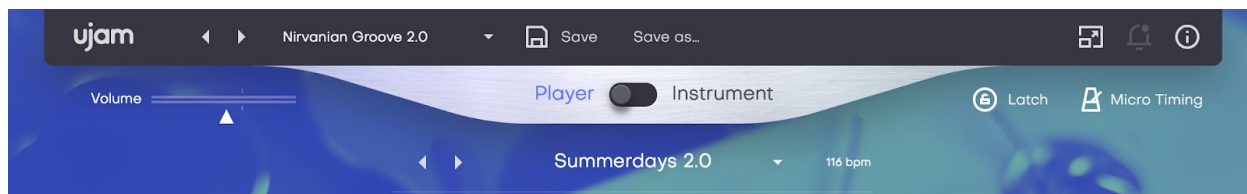
本書の情報は予告なしに変更されることがあります。本書に記載されているソフトウェアは、ライセンス契約で許可されている場合を除き、他のいかなる媒体にもコピーすることはできません。NXTGN Music Technology GmbH の事前の許可なしに、本出版物はいかなる目的のためにも、コピー、複製、その他の方法で送信または記録することは禁止しています。すべての製品仕様は予告なく変更されることがあります。すべての商業記号は、それぞれの所有者の保護された商標および商号です。すべての権利は留保されています。©2020 NXTGN Music Technology GmbH

Table of Contents

Menu メニュー	3
Player Mode プレイヤー・モード	5
Style スタイル	6
Phrases フレーズ	7
Common Phrases コモン・フレーズ	7
Style Phrases スタイル・フレーズ	7
Play Range プレイ・レンジ	8
Instrument モード	9
Instrument モードについての追記	10
Bass & Amp --- ROYAL	11
Bass & Amp --- ROWDY	12
Bass & Amp --- DANDY	13
Bass & Amp --- MELLOW	14
Bass Channel Setup チャンネルセットアップ	15
Master Volume マスターボリューム	16
MIDI Learn MIDI 検知	16
Additional Functions その他の機能	17
Common Phrases コモンフレーズのリスト	18

Menu

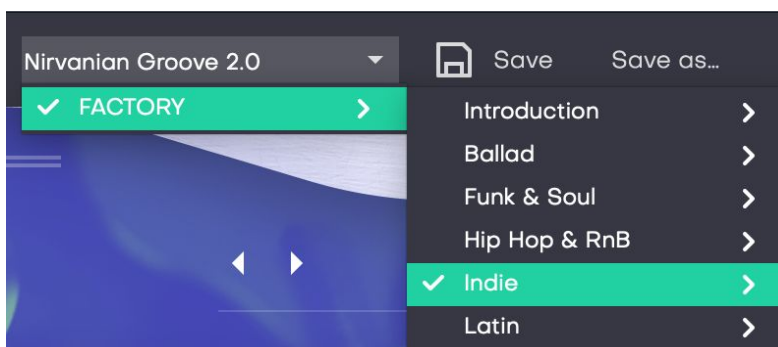
画面上部のメニューバーからは、プリセットの読み込み・保存、アップデート通知やライセンス情報を見ることができます。



プリセットの読み込み

- 「◀」「▶」をクリックすると、前後のプリセットへ移動します
- 「▼」をクリックすると、プリセットのリストを表示します

プリセットはジャンル別にまとめられています。

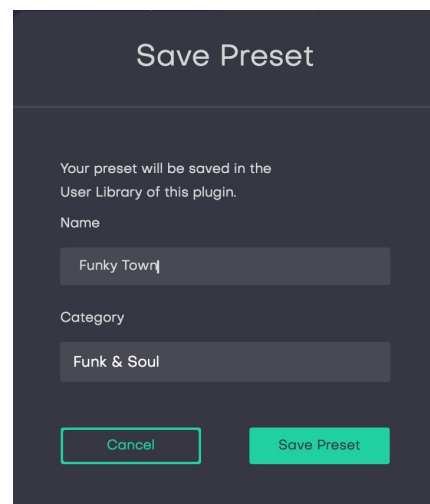


プリセットの上書き・新規保存

Virtual Bassistでは自分だけのプリセットを作成し、名前を付けて保存することができます。

- 「Save」を選択すると、選択した際の設定を使用中のプリセットへ上書き保存します
- 「Save as...」を選択すると、現在の設定を新規プリセットとして保存します

最初から搭載されているファクトリープリセットのみ、上書き保存をすることはできません。



プリセットの移動、名前変更、消去

プリセットの移動、名前変更、消去をするには、直接以下のフォルダからプリセットファイル名を変更して下さい。

macOS

Factory Presets - /Library/Application Support/UJAM/VB-<title>/Presets

User Presets - /Users/USERNAME/Library/Application Support/UJAM/VB-<title>/Presets

Windows

Factory Presets - C:\ProgramData\UJAM\VB-<title>\Presets

User Presets - C:\Users\USERNAME\AppData\Roaming\UJAM\VB-<title>\Presets

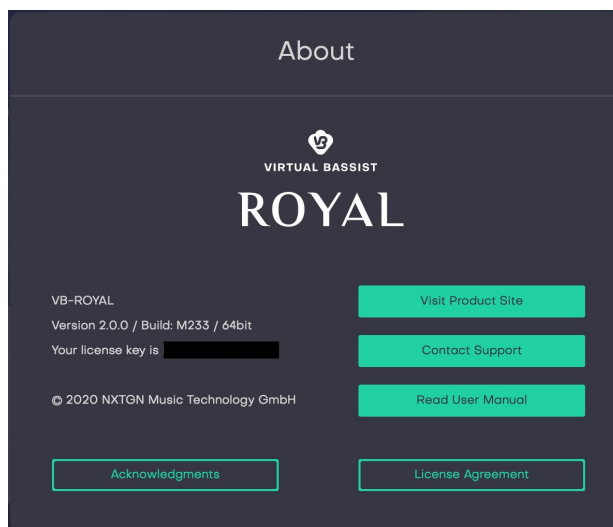
通知

Virtual Bassistを立ち上げると自動的にアップデートの有無が確認され、もしアップデートがある場合は、ベルのアイコンの表示が変わります。クリックするとアップデートをダウンロードをするか選択することができます。

インフォメーションアイコン

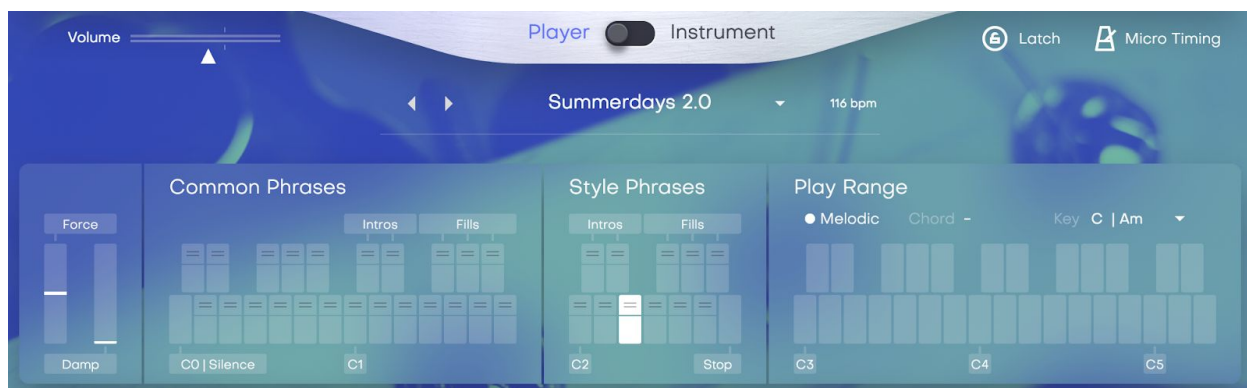
「i」アイコンを押すと表示される「About」では、以下の情報を確認することができます。

- 製品のバージョン情報
- ライセンス情報
- Acknowledgments - 開発チームの情報
- Visit Product Site - 公式サイトへ
- Contact Support - サポートへ連絡
- Read User Manual - マニュアル閲覧
- License Agreement - ライセンス規約



Player Mode

Player モードでは、キーに基づいたフレーズやスタイルを選択し、まるでミュージシャンに演奏してもらうように音楽を作ることができます。（Latch、Key、Timing、MelodicはPlayerモードのみの機能です）

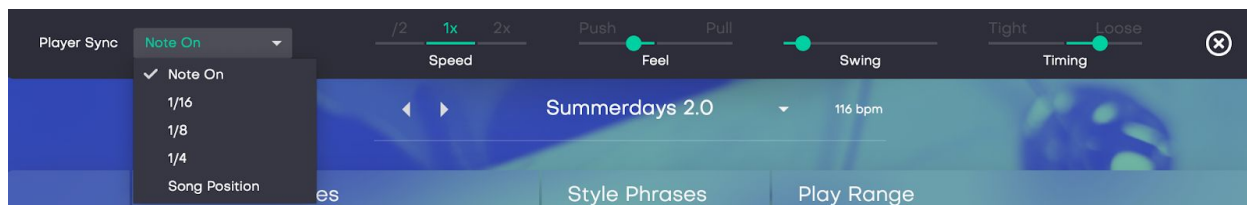


Latch

- Latch On: この状態で音を入力すると、Stopを押すまでその音が鳴り続けます。
- Latch Off: この状態だと、鍵盤を押している間のみ音が鳴ります。サウンドを試聴する際に便利な機能です。サステインペダルを使用することも可能です。

Micro Timing

Player モードで画面右上に表示される「Micro Timing」をクリックすると、タイミングパラメーターが表示されます。ここでは演奏のリズムに関する細かい設定ができます。



Player Sync

DAWのテンポ設定と同期し、4分音符、8分音符、16分音符、Song Positionに合わせて演奏をクオンタイズします。

Speed

楽曲のテンポに合わせて、Virtual Bassistの演奏速度を半分（/2）、通常（1x）、倍速（x2）に変更することができます。

Feel

- スライダーを左に動かすと、若干ビートの前で弾く「前ノリ」感が強くなります。ロック系や疾走感のある曲に適しています。
- スライダーを右に動かすと、若干ビートの後ろで弾く「後ノリ」感が強くなります。ジャズやバラードに適しています。

Swing

ボタンを右に移動するに従って、リズムをスイング（シャッフル）度合いが強くなります。ボタンを完全に右に動かすと3連符の符割りになります。スイングに対応していないフレーズを選択した場合はSwingコントロールが反応しません。

Timing

- スライダーを左（Tight側）へ動かすほど、リズムがクオンタイズされます
- スライダーを右（Loose側）へ動かすほど、リズムがヒューマニズされます

Force と Damp

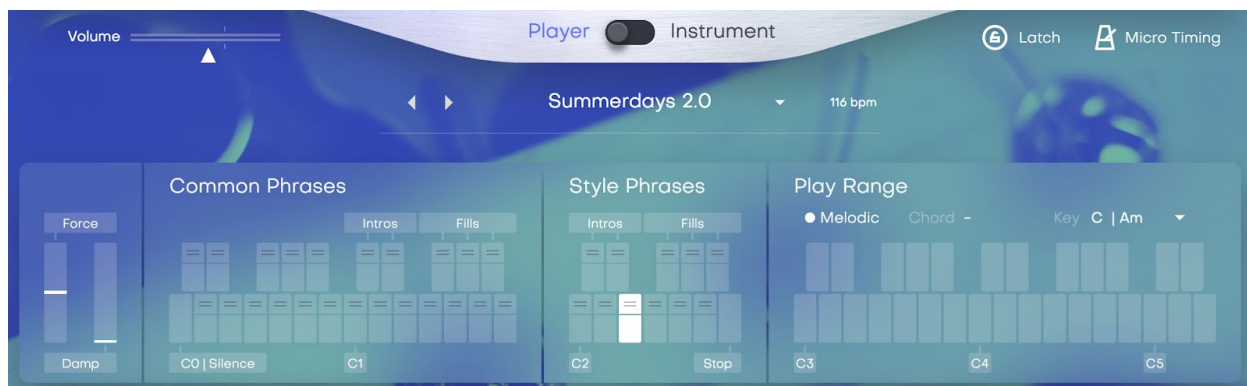
- Force: ピッチホイールで、アクセントの強弱を調節します
- Damp: モジュレーションホイールで、ダンピングの度合いを調節します

Style

画面中央のドロップダウンメニューから演奏のスタイルを選択することができます。スタイルは合計41個あり、演奏家の「ネタ」の引き出しのように様々なフレーズが集められています。フレーズはリアルタイムに変更可能です。



Phrases



Common Phrases

MIDIキーボードのC#0～B1を押すと選択できるCommon Phrasesには、選択したスタイル次第で変化するStyle Phrasesと違い、汎用性の高い「Common = よくある」フレーズが集まっています。全てのVirtual Bassist製品に共通したCommon Phrasesが入っています。

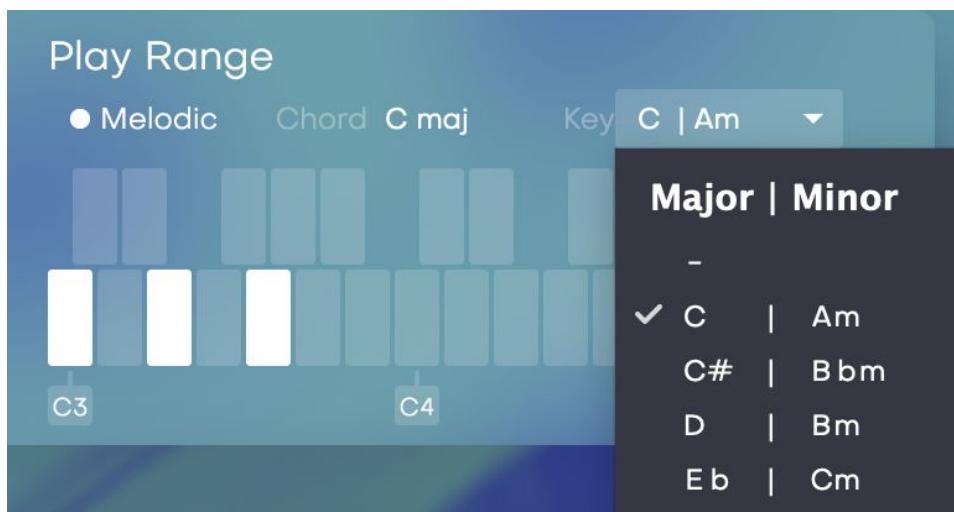
右半分の黒鍵に割り当てられている「Intros」と「Fills」は、他のフレーズと違って一度演奏されると、その前に選択されていたフレーズに戻ります。C1は一旦フレーズを止めたい時に使うサイレントフレーズです。（Common Phrasesのリストはマニュアル末尾を参照）

Style Phrases

C2～A#2から選択しているスタイルのフレーズが演奏できます。白鍵で7つのループフレーズが、そして黒鍵に2つのイントロと3つのフィルが割り当てられています。

- IntrosとFillsは、一度演奏するとその前に演奏していたフレーズに戻ります
- フレーズによっては、押して直ぐに始まらないフレーズがあります
- 右の鍵盤にいくほどスタイルの演奏が激しくなります
- B3は「Stop Key」で、Latch起動中にここを押すと演奏が止まります

Play Range



Melodic

Melodic モードをオンにすると、入力された音を基音としたメロディックなフレーズが演奏されます。（MelodicモードはPlayerモードでのみ使用可能）

Chord

演奏されているコードが表示されます。以下はCを基音にしたコードの認識例です。（Melodicモードでのみ対応）

C5	C, G
C	C, E, G
C6	C, E, G, A
C7	C, E, G, Bb
Cmaj7	C, E, G, B
C (b5)	C, E, F#
Caug	C, E, G#
Cm	C, Eb, G
Cm6	C, Eb, G, A
Cm7	C, Eb, G, Bb
Cm (Maj7)	C, Eb, G, B
Cm7 (b5)	C, Eb, F#, Bb
Cdim	C, Eb, F#
Csus2	C, D, G
Csus4	C, F, G

Key

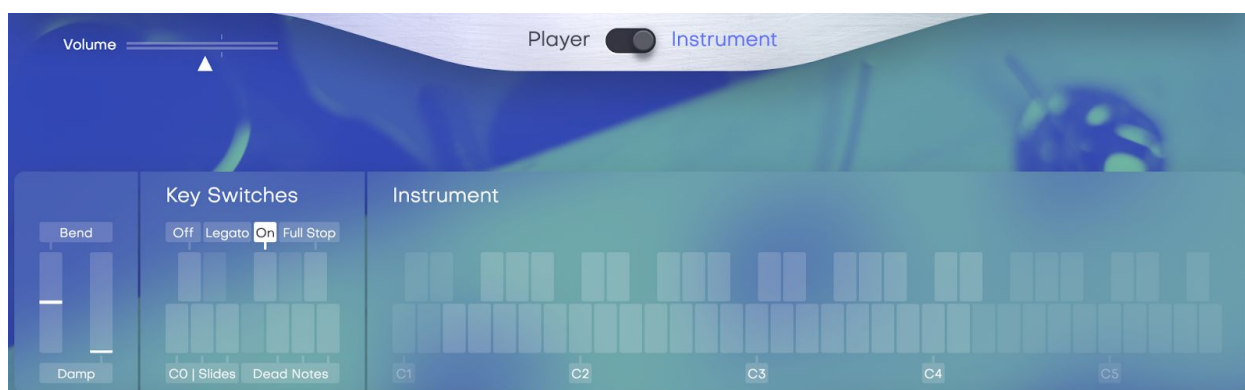
楽曲の調に合わせてキーを設定します。Virtual Bassistは実際のミュージシャンが演奏するように、コードの構成音以外を使うフレーズもあるため、キーを設定しないと演奏される音がキーに合わなくなる場合があります。

もし楽曲内で転調する場合は、オートメーションでキーを変更してください。もしくはMIDI Learnを使用してMIDIコントローラーでリアルタイムに転調させることも可能です。

キー設定はMelodicモードでのみ適用されます。

Instrument モード

Instrumentモードでは、Virtual Bassistを楽器（Instrument）のように鍵盤で演奏して音符を入力します。ホイールやキースイッチを駆使して音に変化を与えることもできます。



BendとDamp

- ピッチホイール（Bend）を使うと、2セミトーン範囲内で音程が変化します
- モジュレーションホイール（Damp）を使うと、ダンピングを強めにしてサウンドをより短くパーカッシブに変化させます

Key Switches

一番下のオクターブに割り当てられたキースイッチを使って以下を選択します。

- Slides: C0、D0、E0を押しながら音を入力すると、スライドが追加されます
- Legato: 音符間のレガート感をC#0でオン、F#0でオフにできます（リアルタイムに変更可能）
- Silent Dead Note: G0を押しながら音を入力すると、弦のアタック音のみを出さずデッドノート（ゴーストノート）が追加されます
- Dead Notes: A0、B0を押すと、ゴーストノートをトリガーします
- Full Stop: Bb0を押すと、止音の際の弦を押さえるノイズが追加されます

Instrument モードについての追記

演奏される弦

弦の割り当ては以下の通りです。

- 4弦 (E) : 28 - 34 (26 - 34 in Drop D Mode)
- 3弦 (A) : 35 - 39
- 2弦 (D) : 40 - 45
- 1弦 (G) : 46 - 63

インターバル

4セミトーン以上離れた音を同時に弾くと、自動的にその音は他の弦で演奏されます。同時に発音できる音数は、本物のベースと同じ様に4つまでです。

4セミトーン以内の違う音を同時に弾くと、同じ弦上で違うフレットの音を弾いたと認識され、1つの音のみ発音されます。

演奏されるフレットポジション

演奏されるフレットポジションは直前に演奏された音を元に計算され、「より自然な音」よりも「より自然な演奏」が選択されています。

レガートの度合い

直前の音のMIDI Velocityと長さ、鳴らしている音のMIDI Velocityに比例してレガートの度合いが変化します。

アーティキュレーション

- 次の音のVelocityが前の音より強く演奏され、音程の移動が1~2セミトーン以内の場合、その次の音にスライドします
- 次の音のVelocityが前の音より弱く演奏され、音程の移動が1~2セミトーン以内の場合、ハンマリングとプリングが適用されます
- 音程の移動が、MIDIノートに割り当てられた弦の音程の範囲を超える場合、別の弦に移動して演奏されます
- 演奏を止める際の音がまだ大きければ、スタッカートのように音が急に止まります。もし小さければ、レガートのように音が滑らかに止まります

Bass & Amp --- ROYAL



Pickup

ピックアップのブレンド度合いを調節します。

- Neck（フロント）ヘノブを回すと、ネック側のピックアップを優先し、より丸みを帯びたサウンドになります
- Bridge（リア）ヘノブを回すと、ブリッジ側のピックアップを優先し、より高音が強調されたサウンドになります

Character

サウンドの個性を選択します。

- Soft: 低域はそのままに、中～高域が減衰されたサウンド
- Warm: 低域が強調され、中域も若干強調されたサウンド
- Neutral: 何も処理がされていないサウンド。他のエフェクトを使う場合はこれを選択
- Hard: 中～高域が強調され、低域が若干減衰されたサウンド

Amp

アンプの種類を選択します。それぞれに違ったヘッド、キャビネット、マイクが使用されモデリングされています。アンプの詳細は以下の通りです。

- Rock: チューブアンプと大きなキャビネット
- Soul: 小さめのヘッド、1 x 15"スピーカー、ヴィンテージマイク
- Pop: イギリスのトランジスターアンプと4 x 10"スピーカー
- Direct: 他のプラグインで音作りをする場合はこれを選択

Drive

歪みの量を調節します。掛かり具合は選択しているAmpによって変化します。Ampの選択が「Direct」になっている場合は動作しません。

Bass & Amp --- ROWDY



Fuzz

アンプを調節する前の段階でFuzz（歪み）を追加します。FuzzとDriveを巧く絡めることによって、さらに存在感のあるサウンドを作ることができます。Driveと違い、AmpをDirectに設定していても使用できる歪みです。

Character

サウンドの個性を選択します。

- Tame: 低域はそのままに、中～高域が減衰されたサウンド
- Round: ニュートラルで低域豊かなサウンド
- Fat: 低域と中高域が強調されたサウンド
- Hard: 中～高域が強調され、低域が若干減衰されたサウンド

Amp

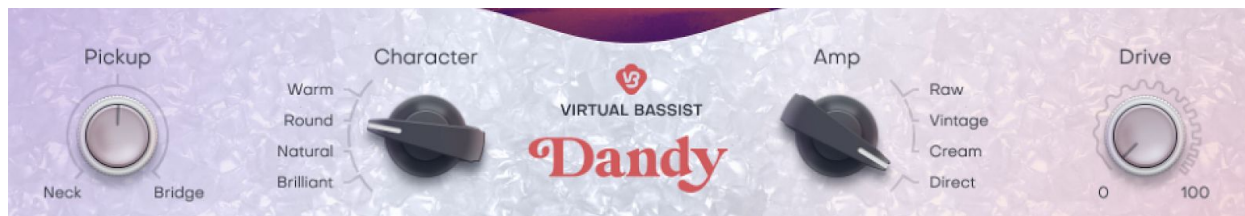
アンプの種類を選択します。それぞれに違ったヘッド、キャビネット、マイクが使用されモデリングされています。アンプの詳細は以下の通りです。

- Metal: 歪んだチューブアンプと大きなキャビネット。低域と高域が強調され、中域が若干減衰されたサウンド
- Cream: 若干歪みが追加された小さめのヘッド、4 x 10" スピーカー、ヴィンテージマイク。中域が強調されたサウンド
- Crisp: イギリスのチューブアンプ、4 x 10" キャビネット、モダンなマイク
- Direct: アンプ無し。他のプラグインで音作りをする場合に選択

Drive

歪みの量を調節します。掛かり具合は選択しているAmpによって変化します。Ampの選択が「Direct」になっている場合は動作しません。

Bass & Amp --- DANDY



Pickup

ピックアップのブレンド度合いを調節します。

- Neck（フロント）ヘノブを回すと、ネック側のピックアップを優先し、より丸みを帯びたサウンドになります
- Bridge（リア）ヘノブを回すと、ブリッジ側のピックアップを優先し、より高音が強調されたサウンドになります

Character

サウンドの個性を選択します。

- Warm: 低域が強調され、中域も若干強調されたサウンド
- Round: 低域豊かで際立つサウンド
- Natural: ニュートラルで他のプラグインで音作りをする場合に選択
- Brilliant: ソロや目立たせたいフレーズに最適な、高域が強調されたサウンド

Amp

アンプの種類を選択します。それぞれに違ったヘッド、キャビネット、マイクが使用されモデリングされています。アンプの詳細は以下の通りです。

- Raw: 大音量の1 x 15" キャビネット、高域を抑え、低域に歪みが掛かったサウンド
- Cream: 温かみのあるサチュレーションに加えて、高域を抑えつつ中域を強調した、前に出過ぎないハッキリとしたサウンド
- Vintage: 4 x 10" スピーカーを使った、スタンダードなヴィンテージサウンド
- Direct: アンプ無し。他のプラグインで音作りをする場合に選択

Drive

歪みの量を調節します。掛かり具合は選択しているAmpによって変化します。Ampの選択が「Direct」になっている場合は動作しません。

Bass & Amp --- MELLOW



Position

演奏するベースの位置を調節します。

- Neck側へノブを回すと、よりネックに近い箇所で弾くため、より丸みを帯びたサウンドになります
- Bridge側へノブを回すと、よりブリッジに近い箇所で弾くため、より高音が強調されたサウンドになります

Character

サウンドの個性を選択します。

- Soft: 低域が強調されたサウンド
- Deep: 低域が強調され、中高域も若干強調されたサウンド
- Neutral: 何も処理がされていないサウンド
- Hard: 中高域～高域が強調されたサウンド
- Tight: 中域～高域が強調されたサウンド

Mic

MELLOWは、様々な位置に配置された3種類のマイクを使って録音されています。

- Hollow: DIが少し追加された、ノイズが少なく深みのあるオープンなサウンド
- Full: DIよりマイクが強調され、演奏ノイズが少しのった臨場感のあるサウンド
- Round: DIとマイクがバランス良くミックスされ、演奏ノイズものったサウンド
- Present: DIが強調された、中域の強いサウンド

Room

「Room」ノブは、MELLOWが録音された素晴らしいレコーディングルームのアンビエンスを増減させます。アンビエンスは別マイクを使用して録音されているため「Mics」の設定には影響を受けません。

Bass Channel Setup

Virtual Bassistには、4弦のチューニングを変える「Drop D」、「Finisher」エフェクト、そして3つのプロセッサー「Octaver」「Equalizer」「Compressor」が搭載されています。



Drop D

スイッチを右に動かしてオンにすると、4弦のチューニングがEからDに下がります。

Octaver

「Octaver」は、演奏している音から1オクターブ上の音をブレンドします。ノブを右に回していくと、そのオクターブ上の音の音量が大きくなります。

Finisher

Virtual Bassistのために最適化されたエフェクトチェーンを追加します。15個のモードから好きなモードを選択し、ノブで掛かり具合を調節してください。オートメーションを掛けることも可能です。

Equalizer (EQ)

Virtual Bassistに搭載されているEQは、4バンド・パラメトリックEQです。ノブを右に回すとより高音部が強調され、ノブを左に回すとより低音部が強調されます。

Compressor

Compressorノブを右に回すとコンプレッサーの掛かり具合が増します。音量が若干大きくなり、音のアタックが強くなります。

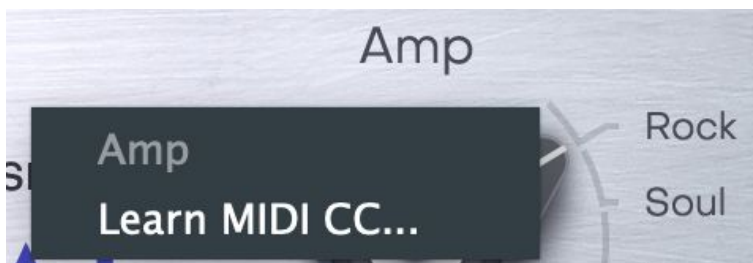
Master Volume



画面右上の「Volume」がマスターアウトプットです。Virtual Bassistはとてもダイナミックで、音量に影響を与えるCompressorなど多くの機能が搭載されているため、他のエフェクトなどを使用する場合は、ここでゲインをしっかりと調節してください。

MIDI Learn

MIDI Learn機能を使うと、Virtual Bassist上のコントロールをMIDIキーボード・MIDIコントローラーへ割り当てることができます。割り当てる場合は、コントロールを右クリック（またはCtrl + クリック）して「Learn MIDI CC...」をクリックして下さい。



Automation

Virtual Bassistでは、全てのコントロールにオートメーションを掛けることができるため、楽曲内でベースサウンドをダイナミックに変化させることができます。

Sustain Pedal

サステインペダルを使用すると、Latchコントロールのように音の鳴りを持続させることができます。これはリアルタイムで使用することも可能です。

Additional Functions

MIDI ドラッグ&ドロップ

Player モードで表示される「Common Phrases」と「Style Phrases」キーボードの鍵盤上部に、横線が2本入った箇所があります。そこをDAWのMIDIトラックにドラッグ&ドロップすると、演奏パターンのMIDIがトラックに現れます。コードを弾いてMIDIをドラッグ&ドロップすると、そのコードがMIDIに反映されます。

リサイズ可能な画面

画面右上の通知ベル隣のアイコンから、もしくは画面右下のストライプをドラッグすることで画面をリサイズできます。



PreSonus Chord Track and Key Track Integration

新しいVirtual Bassist 2.1アップデートでは、バージョン4.6.2以降をお使いのStudio Oneユーザーの皆様にも、PreSonus独自のコードとキートラック機能を提供します。スタイルやフレーズの説明がピアノロールに表示され、トラックに適したスタイルやフレーズを素早く簡単に見つけることができます。ピアノロール上では、演奏範囲とスタイル・Common Phrasesが赤（キースイッチ）と青（演奏可能範囲）に分かれて表示されます。Studio Oneのコードトラック機能は、コードを自動的に追従し、MIDIノートを変化させます。

"Key"メニューの上にある"Follow"をオンにして使用することをお勧めします。Studio Oneが間違ったコードを解釈した場合、"Follow Chords"機能がそれを修正します。もちろん、"Follow"をオフにしてもコードトラック機能は動作します。

スタイルやCommon Phrasesを変更しても、コードトラックに影響を与えたり変更したりすることはありませんが、和声は変更されます。PreSonusのコードトラックで可能なすべてのコードが、UJAM製品で認識されるわけではありません。その場合、最も近い解釈が使用されます。

平行調 (Parallel Key / Relative Key) の選択

Player Chordでキーを選択すると、選択メニューに平行調も表示されます。

Common Phrasesのリスト

#	Group	MIDI Note	Description	Bars
1	長め・短めの音符	C#0	長めの2分音符	2
2		D0	長めの4分音符	2
3		D#0	短めの4分音符	2
4		E0	長めの8分音符	2
5		F0	短めの8分音符	2
6		F#0	短めの8分音符と16分音符	2
7	ベーシックなリズム	G0	通常の8分音符 1	2
8		G#0	通常の8分音符 2	2
9		A0	シンコペーション 1	2
10		A#0	シンコペーション 2	2
11		B0	通常の16分音符 1	2
12		C1	通常の16分音符 2	2
13		C#1	8分音符のフィル	1
14		D1	短めの16分音符	2
15		D#1	16分音符のフィル 1	1
16	ラテン・ディスコ風	E1	サンバ	2
17		F1	サンバ 1+5	2
18		F#1	16分音符のフィル 2	1
19		G1	ディスコ風 8分音符	2
20		G#1	16分音符のフィル 3	1
21		A1	ディスコサンバ	2
22		A#1	16分音符のフィル 4	1
23		B1	サルサ	2